

お知らせ

日本熱帯農業学会第 122 回講演会

期 日 2017 年 10 月 21 日 (土), 22 日 (日)
 場 所 香川大学幸町南キャンパス (法学部/経済学部) 講義棟
 〒760-8523 香川県高松市幸町 2-1
 事 務 局 運営委員長 片岡郁雄
 運営委員 奥田延幸, 別府賢治, 豊田正範, 望岡亮介
 〈10 月 20 日～22 日の連絡先〉
 E-mail : jsta122kagawa@yahoo.co.jp
 Tel : 080-3161-1556 (第 122 回講演会事務局)

参加費および懇親会費

- ・ 当日受付：前納期限 (2017 年 9 月 8 日 (金)) を過ぎた場合
 参 加 費 (要旨集代含む) : 一般 6,000 円, 学生 4,000 円
 懇親会費 : 一般 5,000 円, 学生 3,000 円

発表者について

講演者は会員に限ります。入会されていない方は発表当日までに入会の手続きをして下さい。

講演会受付

香川大学幸町南キャンパス 1 号館 1 階 [10 月 21 日 (土) 8:00～, 10 月 22 日 (日) 8:00～]

10 月 20 日 (金)	幸町南キャンパス 又信会館	
	第 2 会議室	第 3 会議室
15:00 - 17:00	評議員会	
17:00 - 19:00		若手の会

第 1 日 10 月 21 日 (土)	幸町南キャンパス 1 号館			大学会館 2 階 カフェ空・海 (そらみ)
	第 1 会場 (1 階第 11 講義室)	第 2 会場 (2 階第 21 講義室)	ポスター会場 (1 階自習室)	
9:00 - 11:30	研究発表 (講演番号 1～10)	研究発表 (講演番号 11～20)		
11:45 - 12:30			ポスターセッション	
14:00 - 17:30	公開シンポジウム			
18:00 - 20:00				懇親会・ 学生優秀発表賞 授賞式

第 2 日 10 月 22 日 (日)	幸町南キャンパス 1 号館	
	第 1 会場 (1 階第 11 講義室)	第 2 会場 (2 階第 21 講義室)
9:00 - 12:00	研究発表 (講演番号 21～31)	研究発表 (講演番号 32～43)

日本熱帯農業学会第 122 回講演会プログラム

第 1 日 10 月 21 日 (土) 研究発表〔発表 12 分, 質疑応答 3 分〕 ◎印は学生優秀発表賞審査対象

開始時刻	第 1 会場 (1 階 第 11 講義室)	第 2 会場 (2 階 第 21 講義室)
9 : 00	◎ 1 Effect of pH on the accumulation of anthocyanins in relation to the color of flowers *Esther Wagagu Njau, Atsushi Sanada, Hiroshi Gemma and Kaihei Koshio (Graduate School of Tokyo University of Agriculture)	◎ 11 起源の異なる半矮性遺伝子 sd1 を持つイネの形質発現に関する研究ー半矮性同質系統の穂相形質の差異ー * 荒木千広 ¹ ・入江憲治 ¹ ・小塩海平 ¹ ・パチャキル・バビル ² ・志和地弘信 ¹ (¹ 東農大院農学研究科・ ² 東農大国際食料情報)
9 : 15	◎ 2 Effect of pH condition on tomato growth and fruit quality *Naveedullah Sediqui, Atsushi Sanada, Hiroshi Gemma and Kaihei Koshio (Graduate School of Tokyo University of Agriculture)	◎ 12 マレーシア西海岸地域より収集したトウガラシ (<i>Capsicum</i> spp.) 遺伝資源の評価 * 畠山佳奈実・鈴木直樹・根本和洋・松永 啓・友岡憲彦・南 峰夫・松島憲一 (信大院総合理工学研究科)
9 : 30	◎ 3 ジャボチカバの開花および結実特性について * 大穂清隆・真田篤史・小塩海平・弦間 洋 (東農大国際食料情報)	◎ 13 Evaluation of genetic resources of <i>Capsicum</i> spp. collected in central Nepal. *K.Chiba, M. N. Paudel, B. K. Joshi, H. K. Ghimire, D. S. Shrestha, K. Hatakeyama, G. Suda, M. Minami, K. Nemoto and K. Matsushima (信大院総合理工学研究科)
9 : 45	◎ 4 受粉日の花器の局所的な高温処理とパッションフルーツの着果率 * 岡部公則・樋口浩和 (京大院農学研究科)	◎ 14 SSR marker based genetic diversity in water yam (<i>Dioscorea alata</i>) *Favour Olu-Olusegun, Pachakkil Babil, Hidehiko Kikuno and Hironobu Shiwachi (Tokyo University of Agriculture)
10 : 00	◎ 5 異なる pH の酸性土壌で栽培したパッションフルーツの開花数と果実品質 * 庭山翔太・樋口浩和 (京大院農学研究科)	◎ 15 Agronomic Evaluation of Improved Water Yam (<i>Dioscorea alata</i>) Varieties with Tuber Characteristics *Theresa Ige, Hidehiko Kikuno, Pachakki Babil, Antonio Lopez-Montes, Hironobu Shiwachi (Tokyo University of Agriculture, Faculty of International Agriculture and Food studies)
10 : 15	◎ 6 国内各地に生育するアボカド樹の生育特性と商業品種との類縁性 * 下野祐依・樋口浩和 (京大院農学研究科)	◎ 16 ダイジョ (<i>D. alata</i> L.) における窒素固定細菌の共生機序に関する研究 * 三輪菜都美・菊野日出彦・田中尚人・志和地弘信 (東農大国際食料情報)
10 : 30	◎ 7 収穫時期の異なるマンゴー品種間における花成および結実特性の違い * 巽賢太郎・志水恒介・宇都宮直樹・神崎真哉 (近大附属農場)	◎ 17 キャッサバの表層及び組織内から分離した真菌類の同定 * 西村 涼 ¹ ・竹内祐子 ¹ ・遠藤力也 ² ・Jirawat Sanitchon ³ ・縄田栄治 ¹ (¹ 京大院農学研究科・ ² 理化学研バイオリソースセ・ ³ コンケン大農)
10 : 45	◎ 8 ラオス国サイニャブリ県におけるトウモロコシ収量に与える土壌特性の影響の解析 * 藤竿和彦・Phanthasin Khanthavong・Saythong Oudthachit・松本成夫・本間香貴 (京大院農学研究科)	◎ 18 Development of Youth Mediated Communication Method in Schools to Provide Agricultural Information and Knowledge to Farmers of Bangladesh ファテミー ムハンマド・岡田謙介・二宮正士 (東大)
11 : 00	◎ 9 ラオス北部・山間地域の傾斜畑における土壌侵食メカニズム * 河本裕子・西垣智弘・渡邊哲弘・Nivong Sipuseuth・舟川晋也 (京大院農学研究科)	19 Depopulation and Abandoning Farming Problem as a Global Issue : Bhutanese Scholars' PLPRAA in Kyoto, Summer 2017. *Kazuo Ando ¹ , Yoshio Akamatsu ¹ , Haruo Uchida ¹ , Anju Chhetri ² and Sonam Wangdi ² (¹ CSEAS, Kyoto University, ² Sherubtse College, Royal University of Bhutan)

11 : 15	◎ 10 Long-term Trends of Temperature and Rainfall in Thailand * Yang Boxuan and Eiji Nawata (京大院農学研究科)	20 Increasing Abandoned Farmland and its Causes in Eastern Bhutan : A Case Study of Phongmey Gewog *Yoshio Akamatsu, Kazuo Ando, Haruo Uchida and Yeshey Wangmo (京大東南アジア研)
11 : 45-12 : 30	ポスターセッション (1号館1階 自習室) ◎印は学生優秀発表賞審査対象 ◎P1 アセロラの組織培養において光質および培地条件が生育に及ぼす影響 * 古澤典子・楠 聡太・山本雅史 (鹿大院農学研究科) ◎P2 ミャンマー・ザガイン管区におけるヒビスカス属植物 (chinbaung) の作付体系及び種子利用に関する実態調査 * 長嶋麻美, 吉田雅之, 西川芳昭, 入江憲治 (東農大院農学研究科) ◎P3 Diversity of endophytic diazotrophs associated with yam (<i>Dioscorea spp.</i>) Ouyabe, M., Babil, P., Kikuno, H., Tanaka, N. and Shiwachi, H. (東農大国際食糧情報) P4 パプアニューギニアにおけるバナナ栽培の現代的展開 (仮題) * 四方 簪 ¹ ・小谷真吾 ² ・佐藤靖明 ³ ・北西功一 ⁴ ・小松かおり ⁵ (1京大・2千葉大・3大阪産業大・4山口大・5北海学園大) P5 キウイフルーツ近縁種シマサルナシ (<i>Actinidia rufa</i>) の極少低温要求性系統の選抜と育種の利用 片岡郁雄・池田晃一郎・別府賢治 (香川大農) P6 Study on selection and adaptation of sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i>) varieties in Miyako-jima Okinawa *Jalil Ahmad Frotan, Hidehiko Kikuno and Hironobu Shiwachi (Tokyo University of Agriculture)	
12 : 30-14 : 00	昼休み	
14 : 00-17 : 30	公開シンポジウム (1号館1階 第11講義室) 講演テーマ : 「熱帯農業への関心を次世代につなぐー国際教育連携プログラムの取り組みと課題」 ・日本・インドネシアの農村漁村で展開する6大学共同プログラム 加藤 尚氏 (香川大学 SUIJI 推進室長) ・中南米地域における食・農・環境分野の実践的な専門家育成事業 志和地弘信氏 (東農大) ・ミャンマーの技術協力プロジェクトからみる若手人材育成 田中耕司氏 (JICA イエジン農業大学能力向上プロジェクト) ・人材育成に向けたしくみづくり 江原 宏氏 (名大アジア共創教育研究機構) ディスカッション	
18 : 00-20 : 00	懇親会・学生優秀発表賞授賞式 (大学会館 2階 カフェ空・海 (そらみ))	

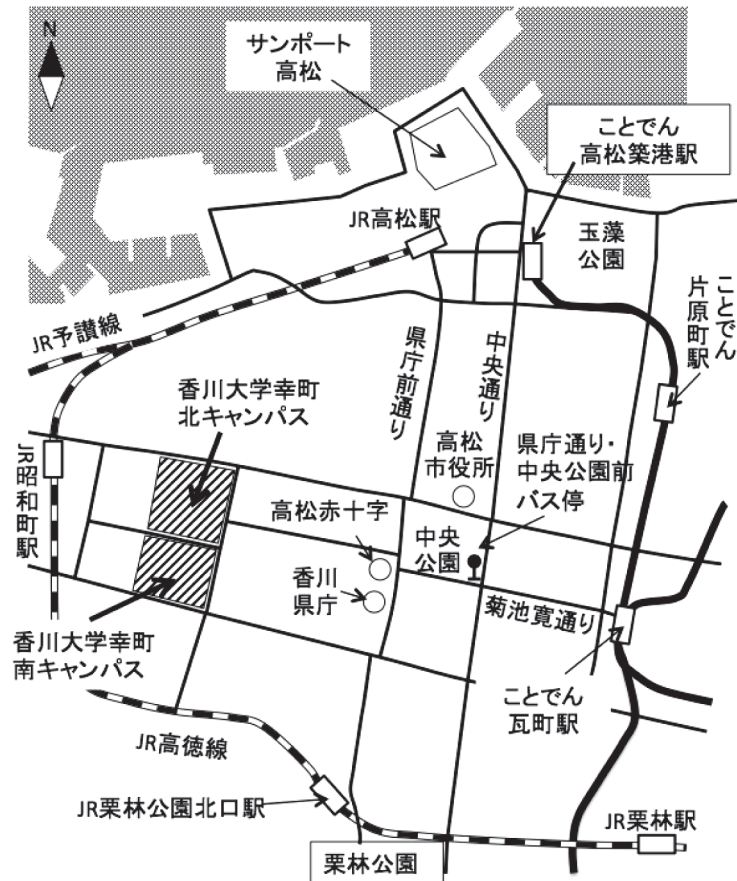
第2日 10月22日(日) 研究発表〔発表12分、質疑応答3分〕

開始時刻	第1会場 (1階 第11講義室)	第2会場 (2階 第21講義室)
9 : 00	21 ガーナ内陸低湿地における被覆植物の刈取り再生能 * 團 晴行・沖 陽子・廣内慎司 (Japan International Research Center for Agricultural Sciences)	32 ネパール中部において収集されたアマランサス遺伝資源の特性評価 * 宗像雄輝・根本和洋・松島憲一・S. Sharma・BK. Joshi (信大院)
9 : 15	22 Tapping technique development for high yield and sustainable harvesting of Thai lacquer trees Wichan Eiadthong (カセサート大)	33 ネパール西部および極西部におけるアマランサスおよびトウガラシ遺伝資源の探索 * 根本和洋・松島憲一・下村晃一郎・八城和敏・DS. Shrestha・S. Sharma・BK. Joshi (信大院)

9 : 30	23 ラオスにおける水田草本植物とその利用 * 小坂康之・古橋牧子・Lamphoune Xayvongsa (京大院アジア・アフリカ地域研究科)	34 カンボジアにおける植物遺伝資源の探索 * 野中絵梨・シエン ライヘン・オウチ スレイニック・オーン チュアン・サカン ソパニー・オーク マカラ・奥泉久人 (農研機構遺伝資源セ)
9 : 45	24 ラオスにおける違法伐採対策とその動向 百村帝彦 (九大熱帯農学研究セ)	35 ミャンマーにおける林産資源の保全と持続的利活用 ～ビルマコンニャクと薬用ランの事例～ * 藤川和美・松本満夫・Deliver Htwe・Nwe Nwe Win・Aung Zaw Moe (高知県立牧野植物園)
10 : 00	25 Results on Extension Activities for Newly Introducing of Upland Rice to Non-Rice Cultivated Areas in the Tropical Forest Zone of Cameroon Suguru Shiina, Yoshimi Sokei, *Tobie Ondoa Manga, Kazutoshi Kurihara, Prisca Yollande Kepseu Tatchago and Magloire Fidèle Vundi (カメルーン国コメ振興プロジェクト)	36 SSR マーカーによるジャボチカパの系統識別 * 篠原 卓・本多俊介・吉田沙樹・五十嵐大造・田中啓介 (東農大短期大)
10 : 15	26 Current Quality Status of Milled Rice in Northwest Region of Cameroon *Teruhiko Sasage, Yoshimi Sokei, Kazutoshi Kurihara, Vundi Fidèle Magloire, Suguru Shiina and Akira Sugimoto (カメルーン国コメ振興プロジェクト)	37 交互結実栽培を行ったマンゴー ‘愛紅’ の収量性 * 志水恒介・巽賢太郎・宇都宮直樹・神崎真哉 (近大附属農場)
10 : 30	27 Relationship between Varietal Characteristics of NERICA 3 and 8 and Environmental Factors to Introduce Those Varieties in the Tropical Forest Zone of Cameroon *Yoshimi Sokei, Kazutoshi Kurihara, Suguru Shiina, Tobie Ondoa Manga and Fidèle Magloire Vundi (カメルーン国コメ振興プロジェクト)	38 マンゴーにおける植物成長調整剤処理が秋季の栄養成長に及ぼす影響 * 香西直子 ^{1,2} ・島田温史 ³ ・緒方達志 ¹ (¹ 国際農林水産業研究セ熱帯・島嶼研究拠点・ ² 鹿大農・ ³ 鹿大院連合農学研究科)
10 : 45	28 Determination of the Panicle Differentiation Stage by the Visual Observation of Plant Shape of Rice *Kazutoshi Kurihara, Yoshimi Sokei, Suguru Shiina, Ondoa Manga Tobie and Vundi Fidèle Magloire (カメルーン国コメ振興プロジェクト)	39 人為的な低温によるアボカド品種の耐寒性の評価 久木田等 ^{1,2} ・* 内野浩二 ¹ ・岩田浩二 ¹ ・熊本 修 ¹ (¹ 鹿児島農開総セ果樹・ ² 鹿児島農政)
11 : 00	29 インド国ウッタルプラデーシュ州における農産物バリューチェーンの現状と課題 石川晃士 (玉大農)	40 施肥量が露地栽培パッションフルーツの収量および果実品質に及ぼす影響 * 鈴木哲也・新川 猛 (岐阜農技セ野菜・果樹)
11 : 15	30 ミクロネシア連邦チューク州ピスパネウ島における食事調査結果 山本宗立 (鹿大国際島嶼教研セ)	41 サラカヤシの花粉発芽に及ぼす保蔵中の温度と湿度の影響 * 松田大志・宮地尚樹・樋口浩和 (京大院農学研究科)
11 : 30	31 ベトナム、ソンラ市における安心安全野菜の販売の現状 * 西村美彦 ¹ ・狩野良昭 ¹ ・Nguyen Thi Quyen ² ・Do Thu Hang ² ・Hoang Van Thanh ² (¹ Expert of IFPaT, ² Fac. Agri. & Forest. Tay Bac University)	42 石垣島におけるテリハボク種子油の資源化 * 伏見 力・北宅善昭 (国際農研)
11 : 45		43 Sustainability of Sugar Palm Endosperms Extraction from Household Forests in a Mien Village of Nan Province, Northern Thailand *Nittaya Mianmit ¹ , Aya Morioki ² , Vipak Jintana ¹ and Shinya Takeda ² (¹ Faculty of Forestry, Kasetsart University, ² Graduate School of Asia and African Area Studies, Kyoto University)

<会場案内>

会場 香川大学幸町南キャンパス（法学部／経済学部）
〒760-8523 香川県高松市幸町 2-1



<交通案内>

大学構内には車でのご入構はできません。公共交通等をご利用下さい。

● JR 高松駅から

- ・徒歩で約 25 分，タクシーで約 10 分
- ・路線バス

- ①ことでんバス（まちなかループバス（西廻り）で「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ
- ②ことでんバス下笠居線（昭和町市立図書館 弓弦羽行）で「幸町」下車 徒歩 1～2 分
- ③ことでんバス香西線（県庁・日赤前 宮脇町 香西車庫行）で「宮脇町」下車 徒歩 1～2 分

● JR 昭和町駅（高徳線）から（本数が少ないのでご注意下さい）

- ・徒歩約 5 分

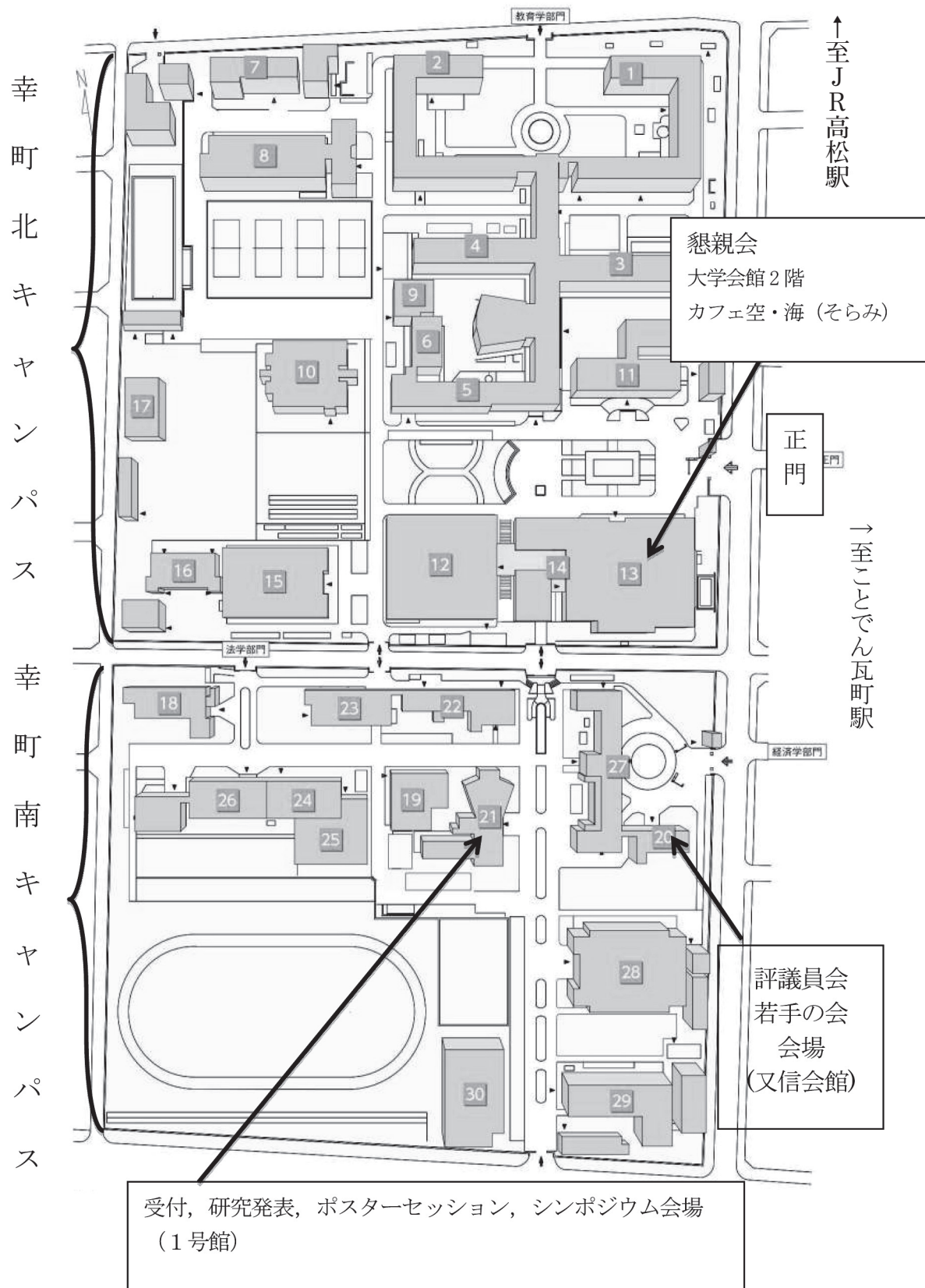
● ことでん瓦町駅から

- ・徒歩で約 20 分，タクシーで約 10 分

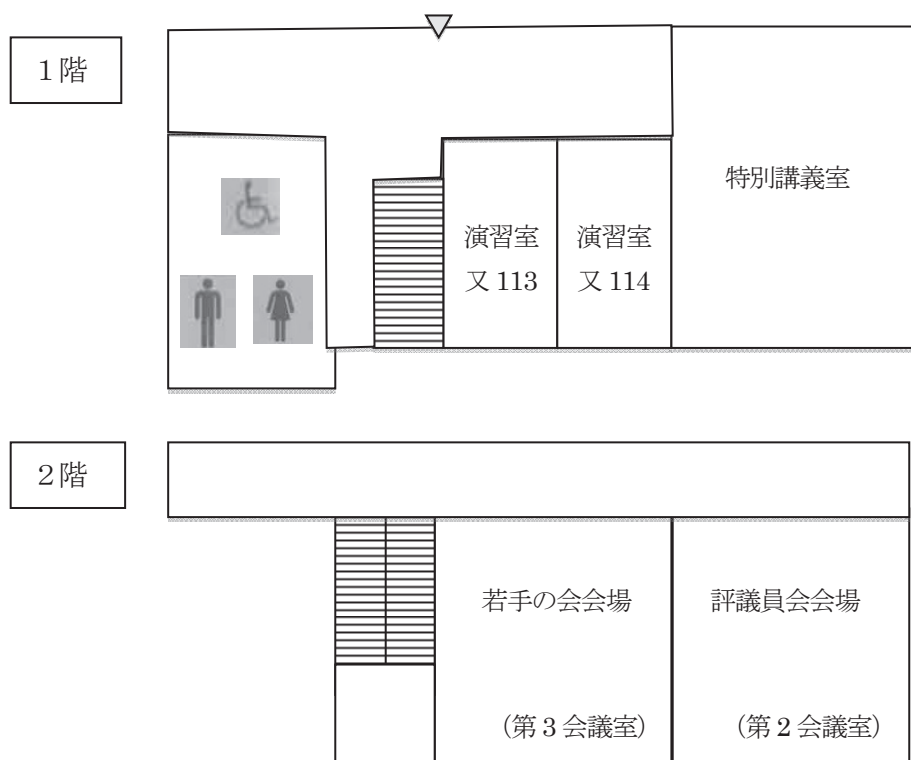
● 高松空港から

- ・高松空港リムジンバスで「県庁通り・中央公園前」下車（約 40 分）＋徒歩約 10 分

日本熱帯農業学会第122回講演会会場（香川大学幸町キャンパス拡大図）



<評議員会・若手の会 会場（又信会館）>



<受付, 口頭発表, ポスター発表, シンポジウム 会場（1号館）>

